

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】令和 4 年 12 月 26 日(2022.12.26)

【公開番号】特開 2021-182825(P2021-182825A)
 【公開日】令和 3 年 11 月 25 日(2021.11.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-057
 【出願番号】特願 2020-87694(P2020-87694)
 【国際特許分類】

H 0 2 J 5 0 / 0 5 (2 0 1 6 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 2 J 5 0 / 0 5

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 16 日(2022.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【 0 0 1 5 】

電極 3 2 は、同一方向（図 2 では Y 方向）に伸びる細長状の複数の配線 3 2 1 と、隣接する配線 3 2 1 間に配置された細長状のスリット 3 2 2 とを有し、各々の配線 3 2 1 の Y 方向の一端側が連結され、Y 方向の他端側が開放されている。なお、スリット 3 2 2 は、配線 3 2 1 が形成されずに絶縁性の基材 3 1 が露出している部分である。但し、複数の配線 3 2 1 を連結するのは、配線 3 2 1 の端部には限定されず、任意の位置で連結すればよい。スリット 3 2 2 の幅（X 方向）は、例えば、1 mm 程度である。以降に説明する他のスリットについても同様である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

電極 3 3 は、同一方向（図 2 では Y 方向）に伸びる細長状の複数の配線 3 3 1 と、隣接する配線 3 3 1 間に配置された細長状のスリット 3 3 2 とを有し、各々の配線 3 3 1 の Y 方向の一端側が連結され、Y 方向の他端側が開放されている。なお、スリット 3 3 2 は、配線 3 3 1 が形成されずに絶縁性の基材 3 1 が露出している部分である。但し、複数の配線 3 3 1 を連結するのは、配線 3 3 1 の端部には限定されず、任意の位置で連結すればよい。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

電極 4 2 は、同一方向（図 2 では Y 方向）に伸びる細長状の複数の配線 4 2 1 と、隣接する配線 4 2 1 間に配置された細長状のスリット 4 2 2 とを有し、各々の配線 4 2 1 の Y 方向の一端側が連結され、Y 方向の他端側が開放されている。なお、スリット 4 2 2 は、配線 4 2 1 が形成されずに絶縁性の基材 4 1 が露出している部分である。但し、複数の配

50

線 4 2 1 を連結するのは、配線 4 2 1 の端部には限定されず、任意の位置で連結すればよい。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 2 2 】

電極 4 3 は、同一方向（図 2 では Y 方向）に伸びる細長状の複数の配線 4 3 1 と、隣接する配線 4 3 1 間に配置された細長状のスリット 4 3 2 とを有し、各々の配線 4 3 1 の Y 方向の一端側が連結され、Y 方向の他端側が開放されている。なお、スリット 4 3 2 は、配線 4 3 1 が形成されずに絶縁性の基材 4 1 が露出している部分である。但し、複数の配線 4 3 1 を連結するのは、配線 4 3 1 の端部には限定されず、任意の位置で連結すればよい。

10

20

30

40

50